

1 単位時間指導事例

7 わたしたちの市のうつりかわり

- 1 単元名 「きょう土につたわるねがい」
- 2 単元の目標
 - ・地域に残る史跡・道具・文化財を通して、先人が生活を向上させてきたことを具体的に調べ、今と昔のくらしの違いや昔の人の苦心について考える。
- 3 本時の指導
 - (1) 題材名 「市のうつりかわり」
 - (2) 本時の目標
 - ・地図や写真を手がかりに昔の石巻と今の石巻を比べ、そのちがいについて気づく。

段階	主な学習活動	指導上の留意点 副読本の活用例	副読本 ページ
つかむ	1 前時までの学習をふり返り、石巻の古いものさがしや、学校のうつりかわりなどについて思い出す。	ノートや副読本をもとに、学習をふり返る。	P 1 0 5 ~ 1 1 6
調べ る ・ 考 え る	2 2枚の絵地図や次のページの写真を見比べて、80年ほど前の市の中心部と現在の市の中心部のちがいについて気づいたことを副読本に記入する。 ・家の数が増えている。 ・道路が広がっている。 ・線路がのびている。 ・工場ができています。 ・高速道路ができています。 ・橋が増えている。 ・海や川がうめたてられ、防波堤ができています。 ・トンネルができています。 ・道路がほそうされている。等	前もって自分の学校の周辺の地図や写真が手に入る場合は用意しておく。 石巻図書館には古い地図や写真があるので相談するのも一つの方法である（石巻市図書館は土日でも開いている）。 「ふるさとの思い出写真集 明治・大正・昭和 石巻」や「目で見ると石巻・桃生・牡鹿の100年」などの本なども参考になる。 絵地図と写真を同時に見比べるのがむずかしい場合には、117ページの絵地図だけを最初に比べ、その後、118ページの写真を見比べる方法もある。また、写真を一組ずつ見比べちがいを見つけていくのもよい。	P 1 1 7 ~ 1 1 8
まひ と ろ め げ る	3 くらべて分かったことを話し合い、自分の気づかなかったことに気づき、まとめる。 4 次の時間の予告を聞く。 (さらに昔の石巻について知る)	最後にまとめて発表ではなく、絵地図なら絵地図だけ見比べて発表してもよい。 自分の地区の写真が一組でもあるとさらに身近な問題として考えることができる。	